

平成 28 年度 提案型協働事業 企画提案

No.	団体名	提案種類	事業名	提案内容
1	e-やん	行政提案	野々市産の椿油を練りこんだクッキーづくり事業	<p>全国椿サミット野々市大会で、県内外の椿愛好者や市民に椿に関心をもってもらうとともに、市の地元の味として椿油を利用したクッキーを定着させたい。野々市市は椿の群生もなく収量が少ないため、少量でも香りと味わいが感じられる椿油を混ぜ込んだクッキーをつくる。将来的には、椿の種子集めに多くの市民に協力を得て取り組む。椿油の抽出は、搾油施設に依頼し経費を節減するとともに、事業に物語性(復興支援)を加えることで多くの市民に共感を持ってもらい、事業を展開していく。</p> <p>依頼先：社会福祉法人 大洋会 青松館せせらぎ（岩手県陸前高田市の授産施設）</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・(一社) ケアサポートネットワーク ピーナッツ ・本町 2 丁目町内会 ・金沢工業大学 Toiro プロジェクト 	市民提案	「2丁目カフェ」を核とした地域をつなぐ交流プロジェクト	<p>地域支え合いマップを作成した結果、単身高齢者世帯も多いことから、日常生活でのつながりが少ないことが課題であると認識。解決策として、集いと支え合いを深める仕組みづくりを行うこととなった。集いの場として、本町 2 丁目にある空き家を利用して、3 団体が協働でコミュニティカフェ（2 丁目カフェ）の整備を進める。この場を核として地域をつなぐ交流プロジェクトを実施していく。</p> <p>○世代を超えたつながりづくり事業、○高齢者の特技を生かした困りごと支援事業、○福祉の相談窓口の開設</p>
3	ほわっとプラス	行政提案	「椿」と「温泉」と「私」～愛する「ののいち」の為♪	<p>椿サミット野々市大会で来場者に「私」たち市民によるおもてなしで「ののいち」の魅力を伝える。市花木「椿」と市の温泉スタンドの「温泉」を活用。「私」であるほわっとプラスが、ラジオを通して椿や温泉について人とのつながり等を発信。また、野々市市民カウンセラーの会「ほわっと」と協力し、関係各所にて手湯での傾聴活動を広めると共に、椿と温泉と愛する「ののいち」を PR し、椿サミット野々市大会の周知をする。椿油・花びらを入れた「椿手湯」や、野々市ブランド酒 = ichi 椿を少量入れた「酒手湯」などを愉んでもらい、新たなまちの文化を生み出す。</p>

No.	団体名	提案種類	事業名	提案内容
4	(一社) 石川県介護福祉士会 白山野々市ブロック	行政提案	野々市市高齢者日常生活支援研修 (仮) の実施	H29年4月から実施される「介護予防・日常生活支援総合事業(新しい総合事業)」における「訪問型サービスA(緩和した基準によるサービス)」の人材を育成するための、研修プログラム(カリキュラム、テキスト)を作成する。また、団塊世代が75歳以上となる2025年に懸念されている介護人材の不足を解消と、介護職の離職率(H24年度17%)を軽減するための取組みを実施していく。
5	・野々市ヤーコン倶楽部 ・金沢工業大学 ヤーコンプロジェクト	市民提案	ヤーこんなに健康に いきいき地域づくり	市の特産品であるヤーコンやアピオスといった機能性成分に富む健康食材を普及することで、健康でいきいきした地域づくりのための社会教育活動を行う。具体的にはヤーコンの収穫体験や各地域の公民館での料理教室、講演会を開催する。合わせてヤーコンやアピオスの機能性や料理メニューをまとめたパンフレットを作成する。市内ではヤーコンやアピオスを栽培しているが、調理方法を知らないため、それらの食材を利用しにくいとの住民の声がある。そこで料理教室を開催し、健康作用や料理方法を学びながら参加者と共に料理を楽しみ、利用方法を体感していただく。
6	矢作絵手紙サークル アマ茶会	行政提案	書いてみまっし 送ってんまっし	椿サミット来訪者や市民の方々に少しでも椿に関心を持ってもらい、愛着を感じってもらうため、絵手紙を作成し、自由に持ち帰ってもらうようにする。 講師による監修を行いながら、会員が絵手紙を作成する。6枚1セットの絵手紙を封筒に入れ、サミット会場に配置する。
7	野々市市54町内会を支える会	市民提案	知って!参加して!感じて!ITを使った楽しく新しいまちづくり	スマートフォン、タブレットで利用できる町内会ポータルアプリの開発及びアプリ利用による町内会活動の業務効率化、活動支援を行う。町内会活動の活性化、情報共有化を提案し、アプリ導入の支援、運用サポートを行っていく。三位一体型地域ポータルサービス「結ネット」を活用し、アプリ導入支援として、町内会、情報発信者への説明、サポートを行っていく。